

か てい がく しゅう けい はつ 家庭学習啓発だより

令和5年9月7日(木) NO.5

2学期が始まって2週間。学校生活のリズムへもどりましたか？

〈遠矢小学校の家庭学習〉

宿題＋自主学習（自分で内容を考えて取り組む学習）＝家庭学習

- ていねいな字で取り組みましょう。
- 自主学習ノートには【日付】と【めあて】を書きましょう。
- ノート1ページ分、取り組みましょう。
- ノートは「自主学習ノート」を使いましょう。
- ドリルは自分で○つけをして、まちがったところは直して提出しましょう。
- ドリルの量は、担任の先生と相談して決めましょう。

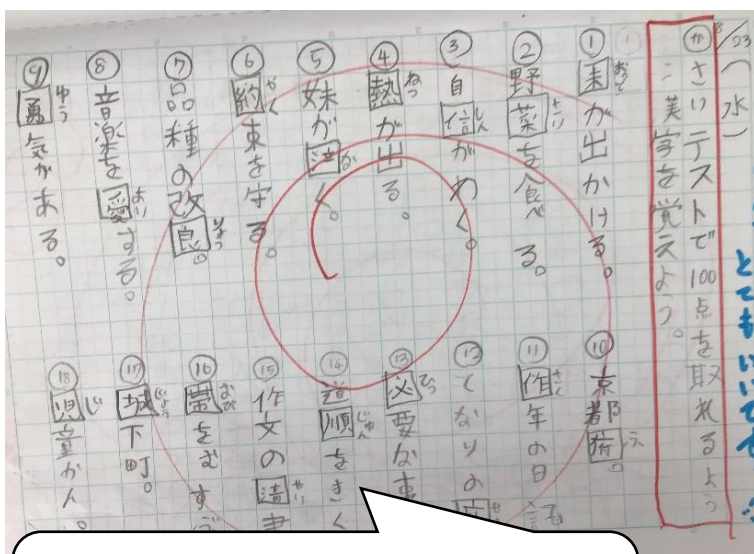
どうして、家でも勉強するの？と聞かれたら…

ご家庭でこんなことをお子さんから尋ねられたことがある保護者の方もいらっしゃるかもしれません。そんな時、みなさんならどのように答えられるでしょうか？私たち教員も、「なんで宿題があるんですか？」と子どもたちから聞かれることがあります。いくつか理由はあると思いますが、その答えの一例を今回は一つだけご紹介します。

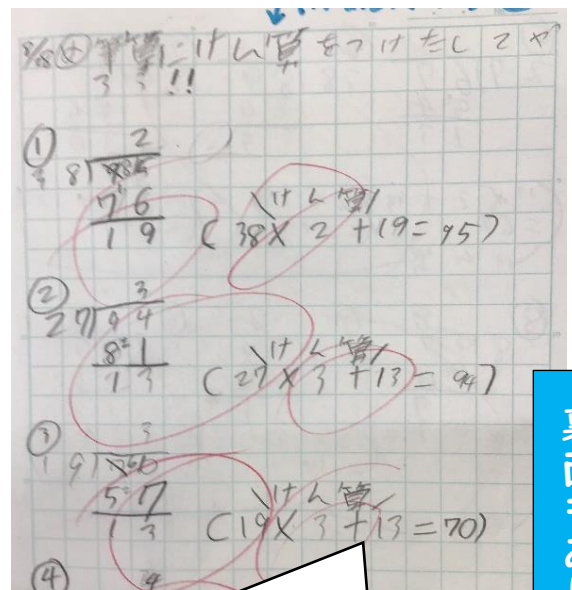
「将来に向けて、学習を習慣化するため」

勉強する習慣は小学生だけでなく、中学生、高校生、大学生になっても必要な習慣です。ですから、学習することに抵抗が少ない低学年の頃から習慣化させる方が簡単ということになるのです。つづきは、次回に……。 (白)

〈自主学習ノート紹介4年生〉



「漢字テストで100点をとるために漢字を覚える」という自主学習をする目的がはっきりしています。



割り算の筆算の後にけん算をして答えが正しいかどうか自分で確かめています。

裏面もあります。

全国学力・学習状況調査の結果から・・・

先日、4月に実施した全国学力・学習状況調査の本校の結果についてお知らせしました。今回は、「児童質問紙調査」から見られた本校の児童の傾向と今後の学校の取組について紹介します。（深）

1 本校の傾向

〈日常生活における意識に関すること〉

○「友達関係に満足している」と回答した児童の割合は、全国平均よりも20%以上上回っています。

○「人の役に立つ人間になりたい」「人が困っているときは、進んで助けたい」と回答した児童の割合も、全国平均を上回っており、前向きに生活しようとする児童が比較的多い傾向にあります。

●「学校に行くのは楽しいと思いますか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつも相談できますか」で肯定的に回答した児童の割合は、全国平均を下回っており、学校生活に関わる不安を感じている児童が一定数いることが明らかになっています。

〈生活習慣・家庭生活に関すること〉

●決まった時刻に起床・就寝する児童、朝食を毎日食べている児童が少ない傾向にあります。

●就寝時刻が遅い児童は、朝食を食べないで登校することが多いとも回答しており、学校で快適に過ごせるような生活習慣づくりが必要な児童が比較的多い傾向にあります。

〈学習に対する意識に関すること〉

○9割の児童が、「国語や算数、英語の学習が大切」だと回答し、意識の高さが表れています。

●一方で、「国語や算数の学習が好き」「学習の内容がよく分かる」と回答した児童の割合は、全国平均を下回っており、意識と現実のずれが生じていることが分かります。

2 本校の取組

〈一人一人とのきめ細かな教育相談の実施〉

・すべての学年で児童の学校生活の満足度を測る「Q-U アンケート」を実施した後、個別の面談を実施し、児童の悩み事や課題を的確に把握し、きめ細かく対応できる体制を整えます。また、日常的に「相談しやすい雰囲気づくり」により一層努めていきます。

・必要に応じて、保護者に連絡したり、学級担任だけではなく校内の教職員で連携して対応したりするようにします。

〈生活リズムの確立のための家庭との連携〉

・年に3回実施している「生活リズムチェックシート」の取組が、より実効性のあるものとなるように、これまで以上に情報提供に努めていきます。「早寝・早起き・朝ごはん」だけでなく、ゲームやスマホ（動画サイト等を含む）などメディアに触れる時間をコントロールすることなどは、個人差(家庭差)が大ききことから、必要に応じて、個別に家庭との連携を図って参ります。

